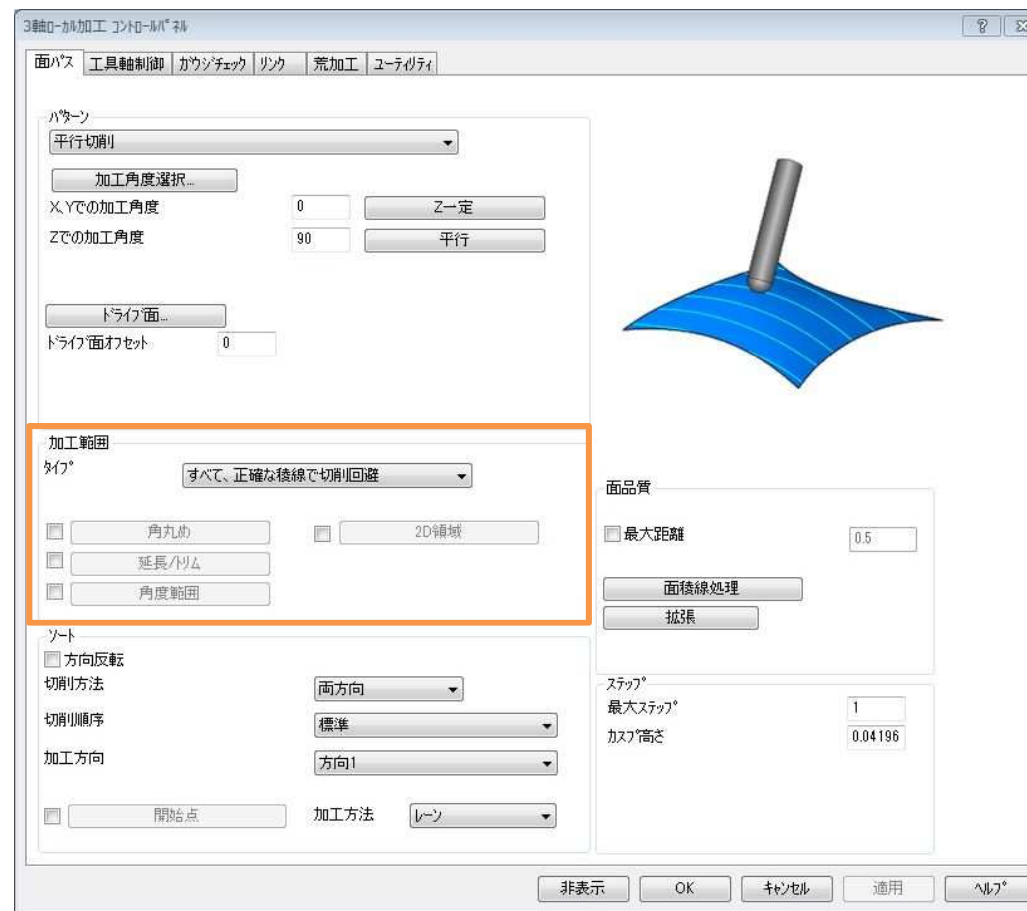

ローカル 3 x

面パス_加工範囲

加工範囲について

- 加工する範囲を限定する機能



加工範囲

- タイプ(必須選択項目)



すべて、正確な稜線で切削回避

すべて、正確な面稜線で開始、終了

加工数による決定（加工パターンによって選択可能）

1または2点による加工制限

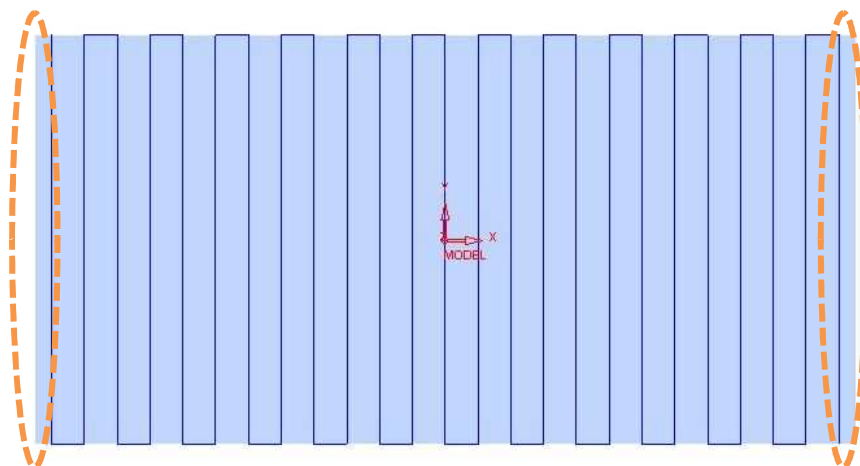
の4パターンを選んでください

加工範囲

- タイプ

「すべて、正確な稜線で切削回避」

加工の始まりと終わりのスライスが最大ステップの半分の数値で回避されます。（工具半径分ではありません）



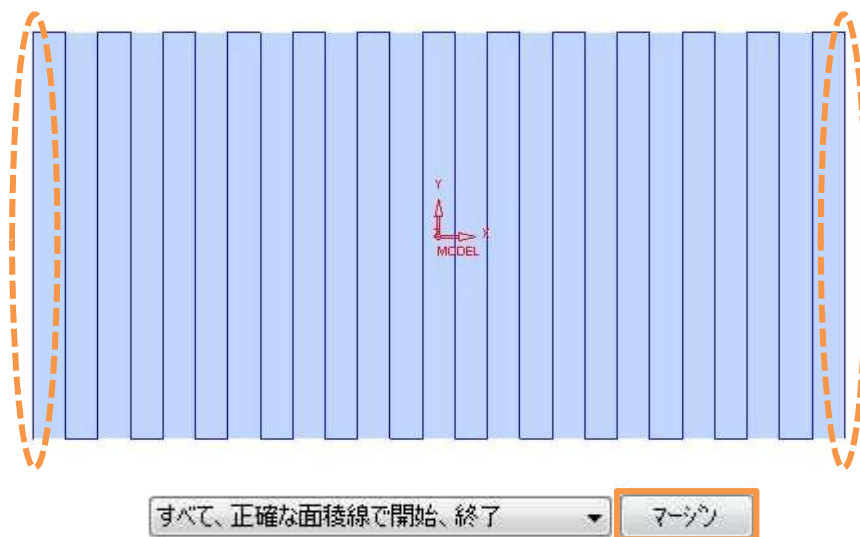
例) 最大ステップが1の場合、稜線から0.5回避し
切削パスが作成されます。

加工範囲

- タイプ

「すべて、正確な面稜線で開始、終了」

スライスはドライブ面の稜線から開始、終了します。
初期の設定でマージン内に「面稜線の不正確さを解決するためのマージン追加」に0.03mmが入っているため稜線内側に控えられます。



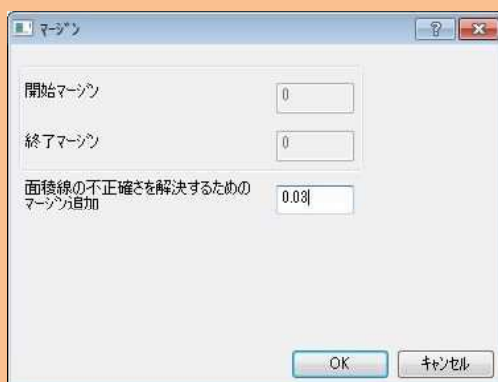
加工範囲

- マージン

すべて、正確な面積線で開始、終了

マージン

稜線からの距離を入力することが可能です。
加工パターンによってマージンの設定できる内容は異なります。



＜平行切削＞



＜2 曲線間の変形＞
＜2 面間の変形＞



＜複数曲線に平行＞
＜面に平行＞

＜曲線沿い切削＞、＜曲線投影＞はマージン設定なし

加工範囲

- タイプ

「加工数による決定」

タイプ

加工数による決定

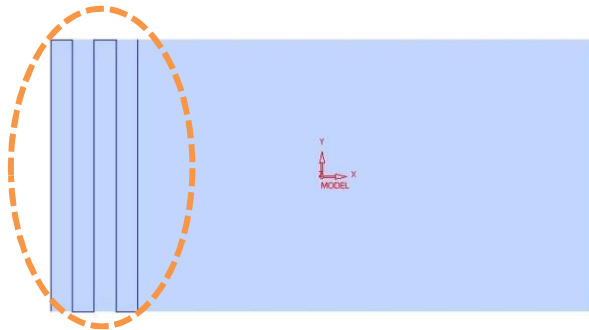
マージン

パス数

1

スライスはパス数によって作成されます。
加工パターンによって結果が異なります。

<面に平行・複数曲線に平行の場合>



基準稜線から加工数分作成

< 2 曲線間の変形・ 2 面間の変形の場合>



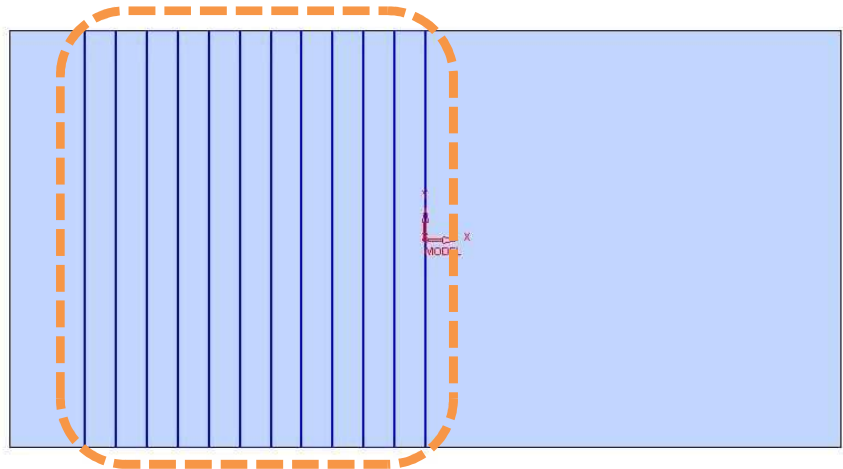
基準稜線が2本ある場合は
パス数で等分される。
(最大ステップは無視される)

加工範囲

- タイプ

「1または2点による加工制限」

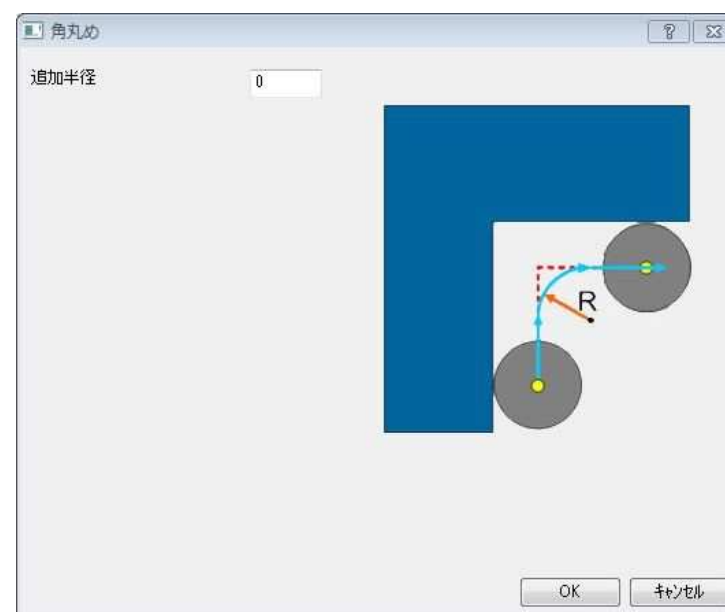
スライスは2点間で開始、終了します。
点の位置は数値もしくはモデル位置で入力できます。



加工範囲－角丸め

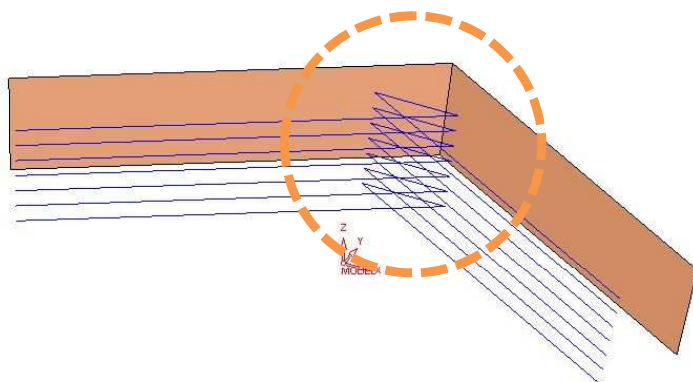
- 角丸め

小さな半径領域と内部角だし稜線を検索し任意のRを作成する機能。
円弧追加された軌跡の送りは「切削送り」になります。

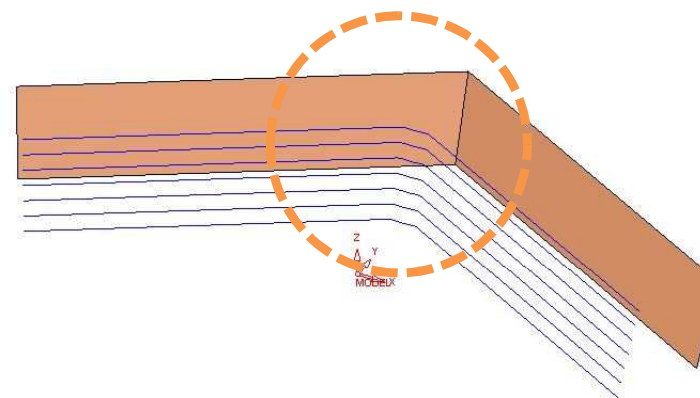


加工範囲－角丸め

角丸めOFF



角丸めON



内側コーナー形状において軌跡がループする場合があります。
(ガウジチェックなし)
これを回避するための機能として使用していただくこともできます

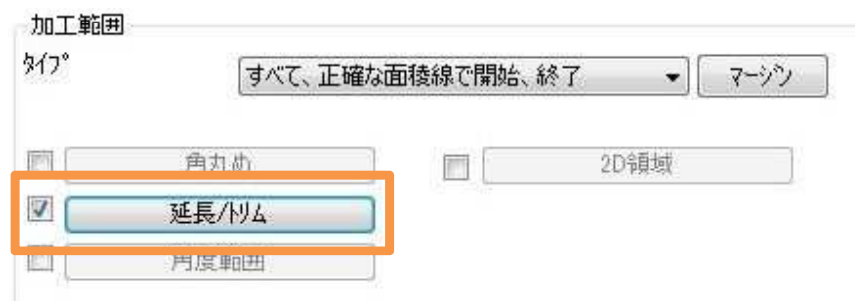
加工範囲－延長/トリム

• 延長/トリム

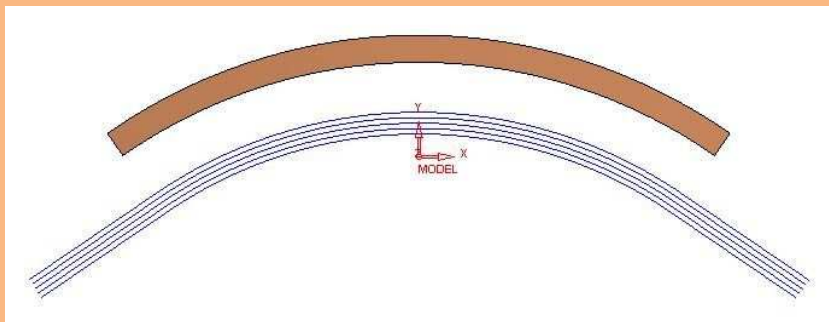
軌跡を延長/トリムする機能。

延長された軌跡の送りは「切削送り」になります。

ドライブ面にギャップがある場合、リンクの切削時のギャップを使用することによってリードインとして延長することもできます。
リードインの場合は、「プランジ送り」になります。

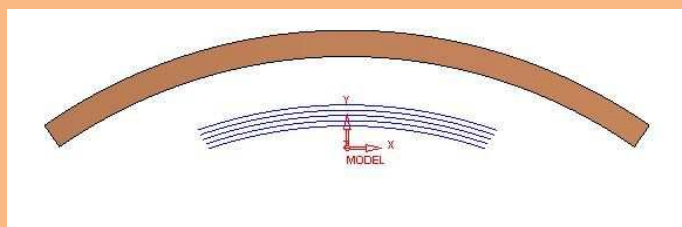


加工範囲－延長/トリム



正数値の場合軌跡は延長します。

延長される軌跡は接線方向に直線で追加されます。送りは切削送り。



負数値の場合軌跡はトリムされます。

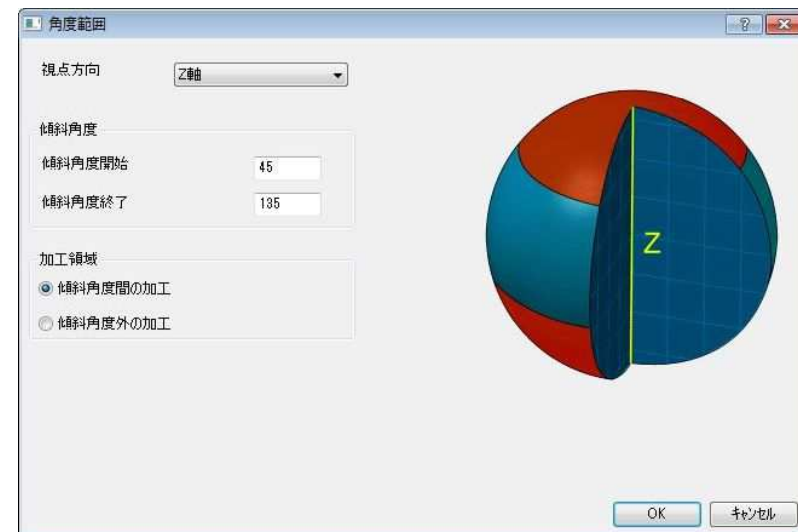
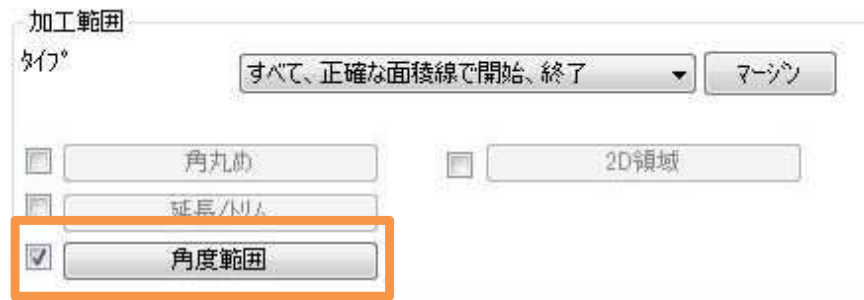
加工範囲－角度範囲

- 角度範囲

角度によって加工範囲を限定する機能。

(Z軸で設定すると傾斜限界角度の様に使用することができます。)

0°～360°入力可能



加工範囲－角度範囲

傾斜角度開始<傾斜角度終了になるよう数値入力してください。

下記の入力値でパスを出したとき、開き方向解析で確認しました。

傾斜角度

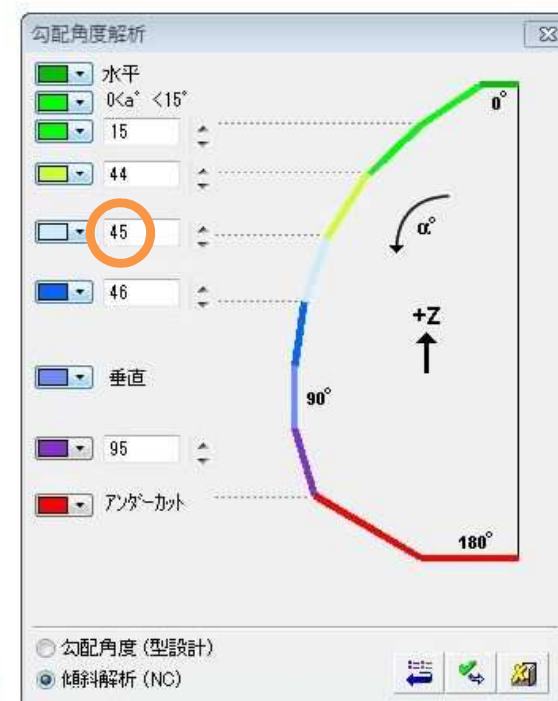
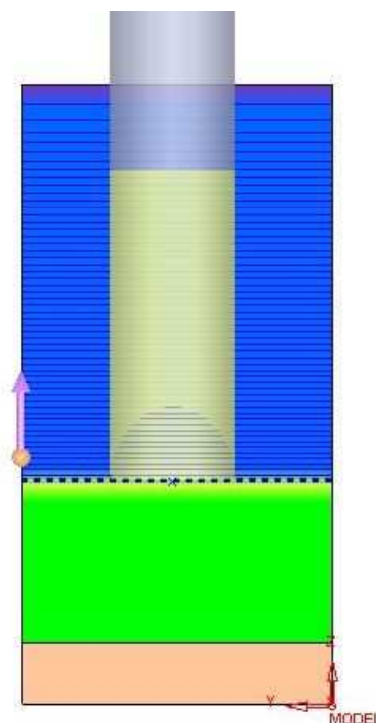
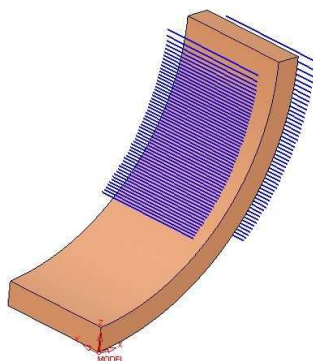
傾斜角度開始

傾斜角度終了

加工領域

☒ 傾斜角度間の加工

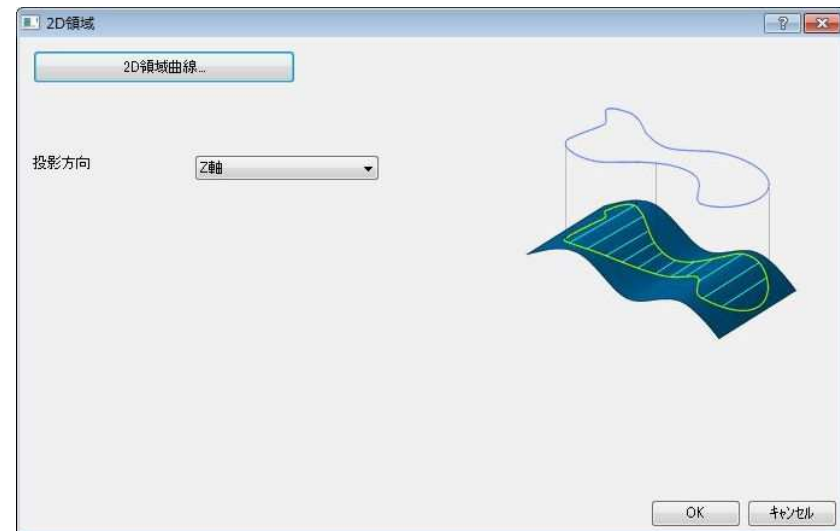
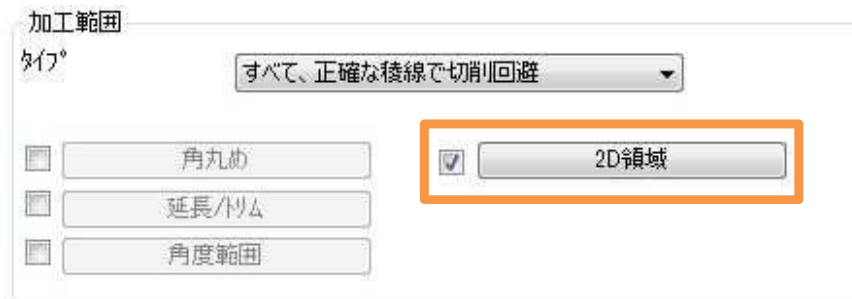
☐ 傾斜角度外の加工



加工範囲 – 2D領域

- 2D領域

曲線や稜線で加工範囲を限定する機能。
投影方向を切り替えることができます。
(X、Y、Z、ユーザー定義)



加工範囲－ 2 D領域

投影された曲線の範囲を工具が接するまで加工します。
Cimatron手続きの加工範囲設定/工具位置/接触点と同じ。

